

わが

失敗を恐れず まちづくり 挑戦し続ける

みよし市は、愛知県のほぼ中央、名古屋市と豊田市の中間に位置する南北に約10km、東西に約5kmのコンパクトなまちです。恵まれた立地条件を生かし、名古屋や三河地域の住宅都市として住宅開発が進み人口増加が続いており、特に生産年齢人口の比率は県内



水源に感謝して行われる三好池まつり

中央に位置する農業用水ため池である三好池にはカヌー競技場があり、令和8年に開催される愛知・名古屋アジア競技大会のカヌースプリント会場となります。

ゼロカーボンシティに向けた取り組み

本市では、現在「みよし市ゼロカーボンシティ推進計画」を策定しています。本計画では、2050年ゼロカーボンシティ実現を目指すため、市民・事業者・行政がそれ

ぞれの役割を担い、着実に脱炭素化を図るためのロードマップを設定していきます。

その取り組みの一つとして本市が予定しているのが、新築の高気密・高断熱住宅への市独自補助金の創設です。新築住宅は来年度から断熱等級4が義務付けとなりますが、本市としては断熱等級6以上の住宅の普及を目指し、等級引き上げに伴う費用を補助することでエネルギー消費の少ない住宅の普及を促進していきたいと考えています。

また、既存公共施設の省エネ化を進めるとともに新築公共施設については全てZEB要件を満たすものとし、現在建設中で、令和7年秋に開設予定の地区コミュニティ施設(延べ床面積2985㎡)は、体育館機能を持った施設とし

て全国初となるNearly ZEB認証を取得しました。

加えて、本計画では、水素社会の実装を目指した「水素利活用ビジョン」を定める予定であり、既存燃料の代替燃料として水素を利活用することが、ゼロカーボンシティ実現に向けた重要な取り組みであると考えています。

そのため、本市としては水素の利活用を民間企業にお願いするだけでなく、計画を推進する市の責務として、市自らができることに取り組んでいかなければならぬとの考えの下、来年度から市の給食配送トラックへ水素(FCH)トラックを導入することを予定しています。

また、市内運送事業者を対象に水素(FCH)トラックを導入する事業者への市独自の補助制度の創設も予定しており、企業、市役所そして市民の皆さまと一体になって水素の社会実装、ゼロカーボンシティ実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。



カヌー大会が行われる三好池

一高くなっています。市内にはトヨタ自動車株式会社などの工場が立ち並ぶなど、自動車関連企業が数多く立地し「モノづくり愛知」の一翼を担っています。また、市内

人を大切に作る働き方

本市では、職員の持てる能力を発揮するためには職員の勤務環境を改善していかなければならないと考え、職員の働き方の見直しを進めています。

まず、令和6年5月から施行したのが市役所の開庁時間の見直しです。

従来の8時30分から17時15分までの開庁時間を9時から17時までと45分間短縮しました。これは開庁時間と職員の勤務時間が同じという残業を前提とした働き方を見直すというに加え、窓口対応が多い課などでは、来客や電話対応がない状態で職員が集まって施策や課題を共有する場を持つことが難しくなったことへの改善や、所属長が職員の事務の進捗管理しんちよくを通して、仕事の属人化による職員間の業務量、勤務時間に偏りが生じることを是正していくこ



大きさが世界一になった大提灯

となども目的としています。

また、本市は令和6年1月に、国の「自治体フロントヤード改革モデルプロジェクト」に採択されたことにより、令和10年度までに実施予定であった市役所の窓口のデジタル化を最大4年間前倒して、令和6年度から実施をしています。

このことにより、これまで以上に「書かない」「待たない」「来なくていい」窓口を推進し、市民サービスの質を低下させることなく、職員の働き方を改善することにつながっています。

加えて、市役所の窓口業務で中核的な役割を担っている会計年度任用職員についても、同じ職場で働く仲間として市独自施策として大幅な処遇改善（12月議会日程の条例改正後の報酬は令和4年度比で38%アップ）を行い、年収の壁を意識せず働くことのできる環境づくりや更新回数の上限を撤廃し、能力と意欲のある職員が長く働けるよう努めています。

また、市の方針として会計年度任用職員の正規職員への転換を促進するとともに、職員定数自体の上限を引き上げ正規職員の数を増加させ、職員数と業務量の適正化

を図っていきます。

最後に、本市が目指す姿は「人が輝き挑戦し続けるまちづくり」です。

私たちは、失敗を恐れ挑戦しないのではなく、失敗しても何度でも立ち上がっていけるまちこそ目指していかなければならないと思います。その原点を忘れず、これからもさまざまな分野の課題に挑戦し続けていきたいと思っています。

プロフィール

- ◆ 面積 32・19 km²
- ◆ 人口 6万1377人
- ◆ 世帯数 2万6057世帯

〔将来都市像〕みんなで育む 笑顔輝く ずっと住みたいまち

〔まちの特徴〕愛知県のほぼ中央に位置し、住宅開発が進む一方で豊かな自然が残り、産業・自然・文化など調和のとれた住環境に恵まれたまち

〔特産品〕カキ（さつぱりとした「太秋」



みよし市長
小山 祐



など）、ナシ（甘くみずみずしい「あきづき」など）、ブドウ（近年は「シャインマスカット」が盛ん）

〔観光〕三夏まつり（三好池まつり・三好いいじゃんまつり・三好大提灯まつり）

〔イベント〕産業フェスタみよし、新春みよしマラソン駅伝大会



窓口でいきいきと市民対応にあたる会計年度任用職員

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。